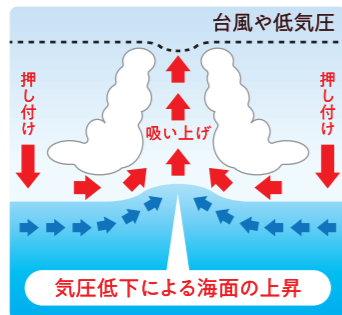


# 高潮に備える

## 高潮発生の仕組み

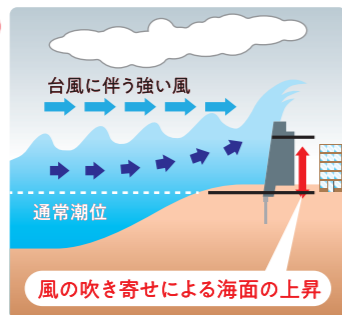
### 吸い上げ効果

台風や発達した低気圧の中心が接近すると、中心付近の気圧が低下し、海面が吸い上げられて上昇します。



### 吹き寄せ効果

台風による強い風が沖から海岸に向かって長時間吹き続けると、海水が海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が異常に上昇します。



## 高潮の被害を受けやすい場所

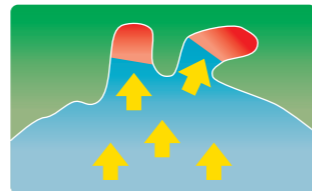
### 河口のまわり

高潮の被害と河川の氾濫など、危険が重なる。



### 湾の奥のほう

押し寄せた海水がたまり、湾内の水位が上がる。



### ゼロメートル地帯

平均海面より低い土地は浸水の危険性が高い。



### 急に深くなる海底地形

押し寄せた波が海岸の近くで一気に高くなる。



## 台風の大きさと強さ

台風の大きさは、強風域(風速15m/s以上の強い風が吹いているか、地形の影響などが無い場合に吹く可能性のある範囲)の半径で表し、台風の強さは、最大風速で区別しています。台風に関する情報の中では、台風の大きさと強さを組み合わせて、「大型で非常に強い台風」のように呼びます。

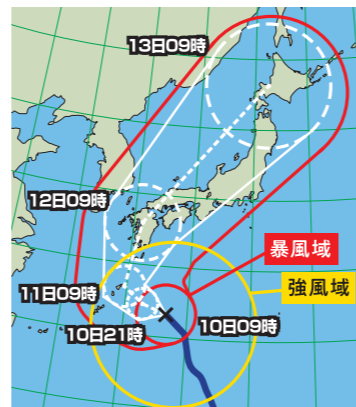
### ●大きさの階級分け

階級	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

### ●強さの階級分け

階級	最大風速
強い	33m/s以上44m/s未満
非常に強い	44m/s以上54m/s未満
猛烈な	54m/s以上

### ●台風情報の例



## 避難のポイント(高潮)

### ●気象情報に注意

台風接近の数日前から気象情報や市からの情報に注意しましょう。



### ●危険を感じたら早めに行動

夜間から明け方にかけて台風の強風域が最接近すると予想される場合は、市から避難情報を呼びかけます。



### ●海沿いに近づかない

海沿いへ様子を見に行くのはやめましょう。高波に飲み込まれるおそれがあります。



# 地震／津波に備える

## 地震発生のタイムライン

地震発生	発生1~2分	発生3分	発生5分	発生10分	発生数時間	発生3日くらい
<b>まず身を守る</b>	<b>揺れが収まったらまず火の始末</b>	<b>隣近所の安全確認 火災の発生を防ぐ</b>	<b>ラジオなどで正しい情報を入手</b>	<b>協力して消火 救出・救護活動</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>●机の下に入る</li> <li>●クッションや雑誌などで頭を保護する</li> <li>●家具やガラス面から離れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●脱出口を確保する</li> <li>●火元を確認する</li> <li>●家族の安全を確保する</li> <li>●靴を履く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●隣近所に声をかける</li> <li>●近所に火が出ていたら初期消火する</li> <li>●余震に注意する</li> <li>●非常持出品を用意する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●正しい情報を入手する</li> <li>●電話はなるべく使わない</li> <li>●家屋倒壊などの危険があれば避難する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●救助活動は一人ではなく複数で行う</li> <li>●壊れた家には入らない</li> <li>●災害情報・被害情報を収集する</li> </ul>		

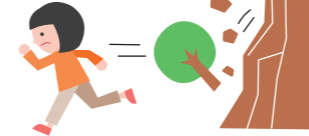
## 避難のポイント(地震)

### ●人が大勢いる施設では

むやみに移動すると混乱をまねくおそれがあるため、係員の指示に従い、落ち着いて行動する。

### ●山やがけ付近では

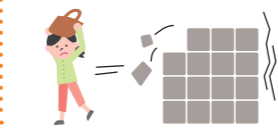
落石やがけ崩れに注意する。



### ●路上にいる!

窓ガラスや瓦などの落下物からカバンなどで頭を保護し、空き地や公園などに避難する。

**注意** ブロック塀、自動販売機には近づかない。倒れそうな電柱、垂れ下がった電線に注意する。



### ●車を運転している!

ハザードランプを点灯させ、徐々にスピードを落とし道路の左側に停めエンジンを切る。がけや橋などの危険な場所にいる場合は、早く脱出する。

**注意** 避難するときはキーは付けたまま、ドアロックもしない。貴重品を持ち出し、徒歩で避難する。



### ●エレベーターの中にいる!

すべての階のボタンを押して、停止した階で降りる。

**注意** 閉じ込められても無理に脱出しようとせず、非常ボタンで外部と連絡をとり救出を待つ。



## 津波注意報・警報・大津波警報

地震発生後、津波による災害の発生が予想される場合、気象庁は、「大津波警報」、「津波警報」、「津波注意報」、「津波情報」を発表し、津波の到達予想時刻や予想される津波の高さなどをお知らせします。

	予想される津波の高さ		想定される被害
	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の表現	
大津波警報	10m超(10m<高さ)	巨大	巨大な津波が襲い、木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。
	10m(5m<高さ≤10m)		
	5m(3m<高さ≤5m)		
津波警報	3m(1m<高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。
津波注意報	1m(20cm≤高さ≤1m)	表記しない	海の中では人は速い流れに巻き込まれます。養殖いかだが出し小型船舶が転覆します。

## 避難のポイント(津波)

### ●小さな揺れでも油断禁物!

小さな揺れの地震でも、長い時間ゆっくりとした揺れの場合、津波が来襲することがあります。



### ●高い場所へ避難する

海岸から「より遠くへ」ではなく、「より高い」場所や建物へ避難しましょう。



海拔表示板を目安により高いところを目指してください。  
この地盤は、**海拔6m**

最大クラスの津波から身を守るため、標高10m以上の場所まで避難してください。防災マップで「標高10mの等高線」表示を確認しておきましょう。

### ●海岸や川には近づかない!

海岸はもちろん、津波は市街地よりも川を早くさかのぼりますので、川に近づかず避難しましょう。



### ●率先避難者になりましょう

率先避難とは「緊急時に周囲に避難を呼びかけつつ、自ら率先して避難すること」を言います。率先避難者になることで、それを見ている周囲の人に避難行動を取らせるきっかけになります。

